

各 位

会社名 株式会社ケーズホールディングス

代表者の 役職氏名

代表取締役社長執行役員 平本 忠

(コード番号 8282 東証プライム)

問合せ先 取締役上席執行役員 水谷太郎経 営 企 画 本 部 長

TEL 029-215-9033

個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

2023年3月期の個別業績につきまして、前年実績値と比較して差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.2023年3月期通期個別業績と前年実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A)	629, 120	16, 961	24, 564	19,008	94. 35
当 期 実 績 (B)	630, 992	11, 224	18, 168	12, 393	64.65
増 減 額 (B-A)	1,872	$\triangle 5,737$	△6, 396	△6, 615	
増 減 率 (%)	0.30	△33.82	△26. 04	△34.80	

2. 差異の理由

業績につきましては、11月に気温が下がらなかったことによりエアコンをはじめとする季節商品が低調に推移したことに加え、電気代や物価上昇による生活防衛意識の高まりから、消費マインドの低下や買い替えサイクルの長期化が顕著化いたしました。

利益面につきましては、引き続きお客様の高付加価値商品に対する関心は高いものの、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していたチラシの折込や店舗改装等を再開したことで広告宣伝費、修繕費等が増加いたしました。また、電気代につきましては使用量の抑制に努めましたが、単価上昇により水道光熱費が大きく増加したこと等もあり、営業利益、経常利益ともに前年同期を大きく下回る結果となりました。特別損失につきましては、当社グループが保有する店舗に係る固定資産の一部について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失を計上いたしました。これにより親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前年同期を大きく下回る結果となりました。

以上